

## [本部]アメリカにおける大学演習林の面積について

木梨, 謙吉  
九州大学農学部附属演習林 : 教授

<https://doi.org/10.15017/1458344>

---

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和46年度, pp.1-4, 1972. 九州大学農学部附属演習林  
バージョン :  
権利関係 :

## アメリカにおける大学演習林の面積について

木 梨 謙 吉

日本の大学演習林の面積は約13万haといわれ、北大は5万haをこしている。京大と九大は5,000haをこし、ついで鹿大が3,000ha台である。1,000haをこすもの3校、500ha以上7校、300ha以上6校という実情であつて、かなり面積の大小が著しい。国立大学演習林20数校のうち、300haから800haまでの学校が一番多く13校約半数をしめている。

演習林の面積の大小は各学校の沿革とつながり、森林の実態の変化とともに、種々の意味を持つていて、面積の大きさは林学の教育研究にいかなる意義をもつかをにわかきめがたい面もある。しかし森林は地上の立地に成育し、面積のひろがりに大きくかかわっている以上、教育研究の立場からみても、かなり重要な因子であるといえるであろう。

今日演習林が教育研究林として、種々の角度から検討されている底には、面積に関連する要素がない訳ではない。

いま一つの参考として、アメリカの大学演習林の規模をながめてみることも、かならずしも無駄なことではないであろう。

まず約50のアメリカの林学に関係のある大学の課程の程度について少しく整理しておいた方がよいと思う。

すなわち大学院だけの大学と思われるものは次の数校である。

SCHOOL OF FORESTRY YALE UNIVERSITY

HARVARD FOREST HARVARD UNIVERSITY

SCHOOL OF FORESTRY DUKE UNIVERSITY など

エール大学の場合 doctor of philosophy degree は Yale Graduate School, 林学科によつて与えられ、専門職としての林業修士と研究職としての林学修士は School of Forestry によつて与えられることになつている。

ハーバードの場合は大学院自体が演習林とよばれているような HARVARD FOREST と名付けられていて、この学校では完全な職業的カリキュラムによらないで、造林、経理、森林土壌、林業経済、森林生理の特別演習が実施されている。

この2校の演習林の面積は明示されてない。

デューク大学は生物科学、森林管理、環境科学、量的分析の四つに大きく分れ、大学のキャンパ

スにつづいて3,440 haの演習林を持っている。

以上は大学院のみの大学であるが、以下大部分の大学は Bachelor, Master, Doctor までの資格を与えるところが多く、科目の内容も様々であるが、平均して約10週間の夏の野外キャンプ演習林実習を科しているところが少なくない。いま面積が明確にかかげられている大学のうち面積が大きい順に掲げてみたいと思うが、演習林といつても大学自体のものと国有林などを利用している場合などの区別はここでは、明瞭でない。

まず面積が一番大きく報告されているのは Wisconsin State University の Department of Natural Resource の演習林で5,463.3 ha となつている。しかしこれは地方林と契約しておかれているものと思われる。アメリカでも北大ほどの面積の演習林は存在しないらしい。

次いで面積的に大きく報じられているのは North Carolina State University の School of Forest Resources の演習林3,237.5 ha である。この中に5つの展示林と実験林をふくむ。

シラキユース大学 (State University College of Forestry at Syracuse University) は林学の単科大学というべき大規模の学校であつて、演習林は6つの展示並実験林あわせて10,117 ha におよぶ、このほか1万 ha をこす大学としてはモンタナ大学の10,927 ha がある。すなわち1万 ha をこす大学はウイソコンシン、ノース・カロライナ、モンタナおよびシラキユースの4校である。

ついで5,000 ha 以上の大学は、テネシイ大学の8,498 ha、Louisiana Polytechnic Institute 林学科の8,094 ha、Clemson 大学 (S.C.) の7,284 ha、オレゴン大学5,666 ha、ウエスト・バージニア大学5,666 ha となつていて5校におよんでいる。

1,000 ha 以上5,000 ha 未満はサウス・スワニー大学 (TENN) の4,047 ha、デューク大学3,440 ha、ミシガン大学3,238 ha、ミシシッピ大学3,238 ha、ペンシルベニア大学2,630 ha、ノーザン・アリゾナ大学1,619 ha、ユタ大学1,012 ha で7校となる。

ついで1,000 ha 以下の大学はニュー・ハンプシア大学の890 ha、フロリダ大学809 ha、アーバーン大学567 ha、バーモント大学445 ha の4校となつている。

面積の表示されてない大学はアリゾナ大学、アーカンサス大学、フンボルト大学、カルホルニア大学、コロラド大学、コネクチカット大学、ジョージア大学、アイダホ大学、サウス・イリノイ大学、イリノイ大学、バアデュー大学、アイオワ大学、ルイジアナ州大学、マクニース大学、メイン大学、マサチューセツト大学、ミシガン大学、ミシガン州大学、ミシガン工科大学、ミネソタ大学、ミゾリユース大学、ルートジャー大学、オクラホマ大学、オースチン州大学 (TEX)、バージニア工科大学、ワシントン大学、ワシントン州大学、ウイソコンシン大学、28

校の多きにおよんでいて、これ等の大学は相当の大面積をもつものがあると思われる。

一応面積が明らかでないものはのぞいてみたとき、1万 ha 以上4校、5000 ha 以上5校、1,000 ha 以上7校、1,000 ha 未満4校となつていて、およそ演習林の面積の傾向を考えることが出来るであろう。

これ等の実態を比較表にして日本とアメリカの演習林をくらべてみよう。ただしアメリカの場合ここに示したものは全体の数の中、約40%である。表の数値は校数を示している。

	日 本	ア メ リ カ
50,000 ha 以上	1	1
20,000 ha 以上	1	1
10,000 ha 以上		2
5,000 ha 以上	2	4
3,000 ha 以上	1	4
1,000 ha 以上	3	3
700 ha 以上	2	2
500 ha 以上	5	1
300 ha 以上	6	1
300 ha 未満	2	
計	23	19

この表からわかるように演習林の面積はそれ程日本とアメリカでは異つていないが、詳しくながめるとかなりちがつている点にきづく。まず日本は小さい国のわりに相等大面積を持つ大学があるが、それはやはり少なくて、小面積の大学が圧倒的に多いことである。これに対してアメリカの場合3,000 ha から8,000 ha 程度の演習林が非常に多く平均的であつて、これに対する面積に相等するのは鹿大、京大、九大といえる。アメリカの場合500 ha 未満というのはさすがに少ない。

またアメリカの大学の演習林は州有林や国有林および林業試験場との連帯的な活用が多いようにみられ、たとえばバーモント大学林学科の大学所有林は445 ha に対し、州有林および国有林8,000 ha 以上を使用しているので、実質的には1万 ha 程度の演習林を利用していると思われる。程度の差こそあれ各州立大学は大小、州有林、国有林、ときには私有林を利用して演習林の役目を果しつつあると思われる。日本の大学演習林の地域的不均一性について、国有林

や県有林の教育研究への積極的参加が考えられるのである。

またアメリカの場合、最初に記した数校の大学院のみの大学が、かならずしも大面積の演習林を持っていないことも想像される。そして大学院でも演習林実習といつたものがせられているように思われる。学期制のちがいが主要な原因と思われるが各校とも 10-week Summer camp での実習がみうけられるが、これは 6、7、8月に実施され9月から新しい学年が始まるためと思われる。いずれにしても林学科において専門課程、大学院課程ともに演習林の教育研究上の重要性が認められる。演習林自体教育研究林として内容を充実するためにも、適当な広さの面積を持つて実験実習の質を向上させることが切に望まれるところである。終りに文献(1)を寄贈された前演習林長塩谷勉教授に感謝の意を表する。

#### 参 考 文 献

- (1) Forestry Schools in the United States. U.S.Department of Agriculture, Forest Service 1970.
- (2) A Brife Introduction to the University Forests in Japan. Kenkiche Kinashi (九州大学演習林研究経過報告 1971)